

ミニ・イベント、ブレイクアウトに関するノート

本文に記されている通り、このイベントは『New Avengers #1-6』を元にしており、ウォッチャーは一読しておくこと、内容の把握、ヒーローたちの行動への対応に役に立つ（日本語版はヴィレッジブックスより『ニューアベンジャーズ：ブレイクアウト』として刊行中）。

以下に、そのあらすじを記す。

ちりぢりになっていたアベンジャーズ

コミックでは、このブレイクアウトの事件の前にアベンジャーズは解散している。

メンバーの一人、スカーレット・ウィッチ（磁界王マグニートーの娘にして、現実歪曲能力の持ち主）が暴走、精神崩壊し、それが原因でアベンジャーズのメンバーであるホークアイ、アントマン、ピジョンが死亡。アベンジャーズの本部、アベンジャーズ・マンションも崩壊したのである。

残されたメンバー（キャプテン・アメリカ、アイアンマン、ビーストなど）は、深く傷つき、それぞれの道を歩き出していた。

それから半年後。スーパー・ヴィランを収容する牢獄“ラフト”を、弁護士マット・マードック（デアデビル）が同僚のフランクリン・“フォギー”・ネルソン、ボディガードのルーク・ケイジとともに訪れる。

彼らを出迎えたのは現在は S.H.I.E.L.D. のエージェントとして、ここに駐留していたジェシカ・ドルー（スパイダーウーマン）。マットはここにリード・リチャーズ（ミスター・ファンタスティック）の使いとして、“百万の太陽の爆発”にも匹敵する力を持つヒーロー、セントリーに協力を依頼してきたのである。

危機に集まるヒーローたち

彼らがセントリーの牢獄に向かう途中、電気を操るヴィラン、エレクトロの仕業でラフトは停電となり設備の機能が停止。ヴィランたちが暴動を起こす。

そこに異常を察知したスパイダーマン、近隣を移動中だったキャプテン・アメリカが到着。彼らは事態の收拾を図る。

セントリーはフォギー・ネルソンの説得を受け、カーネイジに襲われていたデアデビルらを助ける。やがてデアデビル、ルーク・ケイジ、スパイダーウーマンはキャプテン・アメリカたちと合流し、さらにアイアンマンも到着してラフトの暴動は制圧された。

しかし、混乱の中 40 名以上のヴィランが脱獄してしまう。キャプテン・アメリカは改めてヒーロー・チームを結成する必要性を感じ、脱獄したヴィランを追跡するとともに、先の暴動を制圧したメンバーを勧誘する。

サベッジランドへ

調査により、先の暴動はラフトに捕らわれた囚人、カール・ライコス（ソウロン）を脱獄させるために仕組まれたものと判明する。

アベンジャーズはライコスの本拠地である南極のサベッジランドに向かうが、サベッジランドにある

S.H.I.E.L.D. の前哨基地との連絡が途絶しており、前途に不穏な気配が満ちる。

サベッジランドに到着した彼らは恐竜に襲われたりした後、ここで予想外の人物、ウルヴァリンに遭遇する。彼はミュータントのヴィランからラフト脱獄計画の密告を受け、その背後にいたサベッジランドのミューテイトを調査しに来ていたのである。しかし、彼らはミューテイトの手に落ちる。

ソウロンの怒り

捕らわれたアベンジャーズはカール・ライコスと接触。彼の言動には自分を利用した政府（並びに S.H.I.E.L.D.）への怒りが満ちていた。サベッジランド・ミューテイツとの激しい戦いが起こり、カール・ライコスはウルヴァリンの力を吸収しソウロンとなる。

しかし、その戦いに S.H.I.E.L.D. の不正規部隊が介入。指揮を執るブラック・ウィドウ（エレナ・ペローバ）はソウロンを撃ち、さらにキャプテンたちをも排除しようとした。

アベンジャーズはサベッジランドで S.H.I.E.L.D. がミューテイツを奴隷として使い、ヴィブラニウムを採掘させていたことを知る。違法行為を止めようと飛び込むアベンジャーズ。そこに、S.H.I.E.L.D. 本隊が爆撃を行なった。彼らは身内の違法採掘に対し、徹底的な制裁を行なったのである。

ニュー・アベンジャーズ

S.H.I.E.L.D. の司令官代行、マリア・ヒルは冷淡かつ毅然とした態度を取りつつも、巻き込んでしまったことを悔む。

トニー・スタークは改めて、ファイル類の調査から、ラフトに収監されていたはずのヴィランの記録に齟齬があることを突き止める。ヴィブラニウムを違法採掘していた S.H.I.E.L.D. 内部の裏切り者は、ヴィランをも利用して陰謀を進めていたのだ。敵の全貌は当初の予想よりも大きく、そして危険だ。

ここに至り、アイアンマンは危険な男、ウルヴァリンをもアベンジャーズのメンバーに誘う。

殺人も厭わぬ彼をメンバーに迎えることを危惧するキャプテン・アメリカに、トニー・スタークは言う。

「初代チームがチームとして完成したのは、最後の要素（注：キャプテン・アメリカ）が加わったからだ」

「今のこの世の中では、彼（ウルヴァリン）が君だ。欠くことはできない」

かくしてここに新たなアベンジャーズが^{アベンジャブル}集結したのである。